



6月に家にいるのは久しぶりです。庭のキッチンガーデンもしばらく放置状態でしたが、今年はイタリアンパセリ・バジル・ルッコラなどが毎日活躍しています。今号はかなり前になりますが、3月末に行った秩父三峰神社の報告です。奥宮までの道は神社の参拝というイメージとは全く違いました。一応トレッキングシューズを履いて行って良かったです。でもがんばっただけご利益もありそうかな？ お願いしたのは当然、コロナの早い終息！ どうぞ、よろしくお願ひします！

# 秩父三峰神社

## 岩とクサリの奥宮

八ヶ岳歩こう会の「江戸巡礼古道ウォーク」秩父札所巡り」の本番第一回目は3月25日に行われる予定でしたが、これもコロナ騒動により「延期」となりました。

この日のために下見など尽力してくれたOさんが、「(延期になった)その日に秩父の三峰神社へ行ってみませんか」と声をかけてくれました。本来はバスウォークで大勢の参加者ですが、少人数でお互いに気をつければ多分大丈夫? ・ ・ ・ まだ緊急事態宣言前のことでした。何十年も前、お義母さんと友人と3人で三峰山へ行った靡げな記憶があり、もう一度その記憶を確かめたいような気持もありました。確かその時はロープウェイで登ったような・・・? 甲府市街地の北側を走る国道140号を東へ進み、雁坂道へ入っていきます。この国道140号は甲府と秩父を結

ぶ往還として古くから使われていた古道で「秩父往還」「雁坂道」とよばれてきました。笛吹川の深い溪谷に造られた広瀬ダム・広瀬湖の脇を抜けると「道の駅みとみ」に到着。

ここまで来るとさすがに深い山奥の靈気が肌感じられます。甲州、信州、武州の3つの国の頂点に位置する甲部信ヶ岳をはじめ西沢溪谷、奥秩父の峰々が迫っています。道の駅みとみを出て道が大

きくU字にカーブすると雁坂トンネル料金所。2004年4月に開通した全長約6キロ半のトンネルです。これを抜けると秩父市。グングン下り30分ほど行くと三峰神社と秩父湖へ向かう交差点の標識が見えてきました。道標に従い三峰神社方面へ。しばらく走ると秩父湖の湖岸に出て、九十九折りの道路を登りきると広い駐車場とレストハウスやおみやげ物店が建ち並ぶ三峰神社に到着しました。

### 狛「犬」は狼!

二百台は止められそうな広い駐車場には、多くはないですがそれなりに車が停まっています。やはり来る人はいるのだなと自分たち江尾棚に上げて感心。コロナ終息祈願かな? 関東でも屈指の神社、秩父

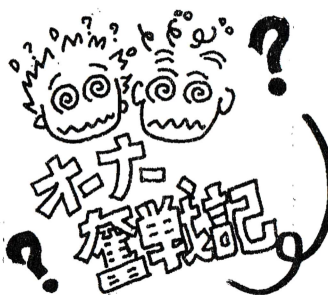
3大神社の一つに挙げられる古い歴史と大きな施設・敷地をもった神社です。駐車場の広い石段を上ると左手に三峰神社の大きな3つの鳥居、それを潜ると社務所と本殿です。本殿の前には両側に「狛犬」、でもなんだか変? 顔が孟だけしく怒っているようです。

この三峰神社の守護神は「狼」だそうで、本殿を守るのはその「狼」! という訳でした。本殿の裏に回って小高い丘に登ると大きなヤマトタケルの石像が立っていました。グルッと回って下っていくと左手に「奥宮遥拝殿」の標識。そこへ行くと小さなテラス? の遥拝殿。下は深く広い谷。「遥拝というからには奥宮がどこかにあるんだろう!」と深い谷の向こうの山や森を眺めます。遠くにかすむのがそれらしい? 奥宮まで行くことができない人はここから奥宮に向かって祈ったのだそうです。思えば、あの谷の向こうの山に奥宮があるなら、そこへ行くのは並々ならぬ難コース!! と思わずにいらなくてならなかったのです。それに気づいたのは奥宮への行程の8~9割は登った後!

### 奥宮(妙法ヶ岳)へ

門前の食堂でお昼を頂き、

### コロナ禍での生活は? の巻



半年近くにも及ぶコロナ禍の中でみなさん、どのようにお過ごしでしたでしょうか? 幸い八ヶ岳南麓ではそれほど切羽詰まった感じはなくのんびり過ごせた方だと思います。ただ観光に来て頂くことは難しく、5月の連休などは異様な程、静まり返っていました。風路も2ヶ月ほど自粛生活でした

が、近所を散歩したり、お気に入りのレストランのテイクアウトを買って応援したり・・・これは自分たちの食卓が超充実し、お酒も一緒に楽しめるというメリットも! そのうち周りからはリモート会議や飲み会の話も出るようになってきて、アナログ人間としては、うちまでその波が来ませんように、と願っていました。プライベート空間にカメラが入ってくるみたいで、できれば遠慮したいな〜と。しかし、本当のところは散らかった部屋を片付けたり、服装やカメラ映りが気になるだけじゃないの? という鋭いツッコミも! リモート会議のアプリには美肌モードもあると聞き、それならやってみてもいいかな〜と思う今日この頃。(「そこか〜!」by 周)

午後行動を相談。1時間位で奥宮に行けそうなので、せつかくだから行ってみましょう、と意見がまとまりました。駐車場から神社とは反対方向へ進みます。両側にはシヤクナゲがたくさん。花の季節はきつと素敵だろうな。最初は緩やかな登りの林道で鼻歌気分のウォーキング。少し行くと移築された古民家が建っていました。その先からは大きな杉、檜の樹林の登山道になりました。鳥居をいくつもくぐり、参道(登山道です)をどんどん登っていき

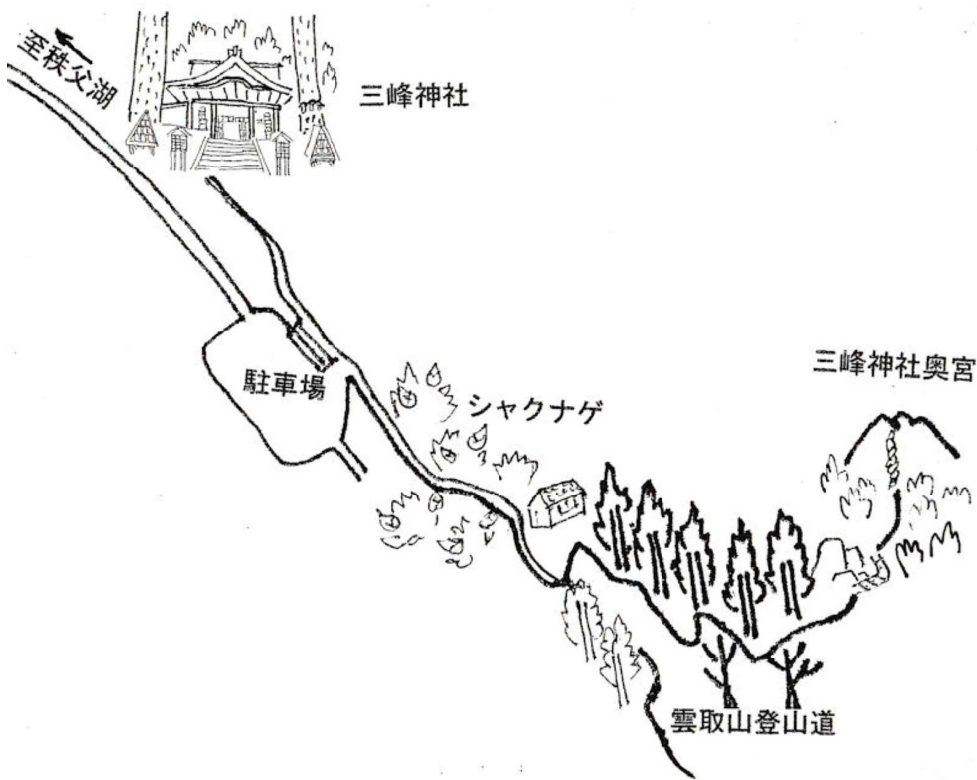
ます。途中で幾つか木のベンチがあり、休憩できるようななっています。下りてきた(山登りの格好の)人が「最後はクサリや岩場ですから気をつけて」と声をかけてくれました。ちよつとビビる・・・さらに登っていくと「階段、クサリ場は足元に注意しよう」の看板、その向こうに大きな岩を巻くように設けられたパイプ製の階段が見えてきました。大きな岩を回り込むと今度さらさら大きな岩、クサリが上から下かかっています! うらへつづく

表からつづく  
超苦手なのですが、ここま  
来たからには行くしかない!?  
クサリにしがみついているん  
かへっぴり腰でよじ登りまし  
た。

### 小さな社に達成感

この大岩を登りきると三峰  
神社奥宮の小さな社がありま  
した。「やったぞ!」奥宮  
の社から深い大きな谷を挟ん  
で、遠くに遍拝殿として三峰  
神社の本殿の森が臨めました。  
「ここまで来れて本当に良

かった!」  
帰路もクサリ場や階段を慎重  
に下り、駐車場まで降りてき  
ました。戻ってきたら、強気  
にならずにはいられません。  
三峰神社に来たら、奥宮には  
行かなくちやね!  
実際は、かなり手強い三峰  
神社奥宮参拝(登山です!!)  
でした。  
ロープウエーは広い駐車場  
ができたところに廃止になった  
のだそうです。多分山頂下か  
らロープウエーに乗り、降り  
てから神社まで歩いたのだと  
思われます?



## スペイン巡礼の道・北の道 その3 (2017) 記録的な猛暑、心折れる...

5日目

サンセバスチャン〜オリオ

後ろ髪を引かれる思いで、  
美食の町サンセバスチャンを  
出発! きょうは標準コースで  
は21キロ先のザラウツという  
町までとなっていますが、私  
たちは13キロ先のオリオまで。  
楽勝かと思いきや・・・  
天気は快晴、そして暑い!  
そして上り坂! すぐに、休憩  
したくなり、プチホテルのよ  
うな建物に入っている。「何  
か飲みますか?」と尋ねてみ  
ました。「どうぞ」きちんと  
ロスのかかったテーブルに案  
内され、コーヒーとオレンジ  
ジュース、それにアーモンド  
ケーキも出してくれました。  
出る時、お支払いしようとし  
たら受け取ってもらえません!  
またまた「これがカミーノ!」  
暑くてバテていましたが、  
この後はしばらく元気に歩け  
そう!・・・のはずが、2〜  
3キロ先のバル、そのまた2  
〜3キロ先のバルと吸い込ま  
れ、なかなか進みません。  
それでも右手に見える海に  
励まされながら、なんとか、  
オリオの新しいオスタルへ。  
夕食のレストラン探しには苦  
劳しましたが、朝食はGOOD!

海の子の血が騒ぐ

6日目

次の日はザラウツまで8キ  
ロ。やはりかなり急登に苦戦・・・  
ザラウツに着き、きれいなペ  
ンションに泊まることができ  
ひと安心。シエスタタイムの  
後、海岸に行つて、大西洋の  
海とたわむれる海の子! 宿の  
ご主人から次の日は山道と海  
岸沿いの道がある、と説明が  
あり、海岸沿いの道はフラッ  
ト、ときけば、最後まで聞か  
ずに「その(フラットな)道  
を行きます!」

7日目

ザラウツ〜ツマイヤ

確かにフラット、そして遠  
くにはまるで江の島のような  
半島が見えます。暑い・・・  
江の島は近づかない・・・  
こちらに在住の日本の方と出  
会い、少しおしゃべり。「こ  
の夏はスペインも記録的な暑  
さです!」とのこと・・・やっ  
ぱり!

「江の島」はゲタリアとい  
う半島、少し早いお昼を海辺  
の食堂で頂くこうと思つたら、  
魚介類は全く無し・・・12時  
過ぎてから、町中のお店に入っ  
た方が良さそうでした。  
次の目的地ツマイヤでも宿

が少なく、困っていたら休憩  
したバルの2階がオスタルに  
なっているとのこと、天井が  
斜めになっていましたが十分  
です。

ついに心折れる

8日目

ツマイヤ〜デバ

さて、次の日はデバという  
町までの13キロ。距離だけ  
みれば楽勝(?)のようですが、  
全くそんなことはありません。  
暑い中、アップダウンの繰  
り返しで、ヘトヘトになりま  
す! きのうの夜位から周平の  
食欲が落ちているのがちよっ  
と心配。

デバの手前5キロほどのと  
ころからかなりの急登。もう  
かなり疲れていっているので、  
ガイドブックに出ていた、丘  
の上のホテルに泊まることに  
して、何とか励ましあつて息  
も絶え絶えして到着。  
すると非情にも「コンプリー  
ト(満室)」! ここで心折れ  
た周平「タクシーをお願いし  
ます!」・・・  
デバまでは下りでしたが、  
もう疲労困憊。タクシーで町  
中のペンションへ到着したも  
の、インターフォン越しの  
返事は「コンプリート」!  
インフォメーションを探し、  
そこでアルペルゲを紹介して  
もらい、ベッドに倒れこみま  
した。夜は通りの向こうのバ

ルへ。周平食欲なし。  
三択の結果は?  
9日目  
デバ〜  
さて翌日。巡礼者が次々に  
出発。私たちもそろそろ出か  
けない? と声をかけても起き  
る気配無し。なんと「気分が  
悪く、歩ける気がしない」と  
力なくつぶやくではありませ  
んか! そう言えばこの2、3  
日食欲もあまりなかったな?  
食べるの大好きな周平が食べ  
なくなるときは、本当に具合  
が悪いので無理はさせられな  
いと覚悟を決めました。  
そして三つの選択肢を示し  
ました。  
1は残り1週間以上ある飛行  
機のチケットをキャンセルし  
てなるべく早く日本に帰る。  
2、病院に行く。  
3、病院もある大きな町(例  
えばサンセバスチャンのよう  
な)に行つてしばらく休養す  
る。どれがいい?  
答えは弱弱しい声ながら、  
はつきりと「さん・・・せば  
すちやん」  
そのとき泊まったアルペル  
ゲの1階が鉄道の駅だったの  
で、そこから列車に乗り、5  
日前に出発したサンセバスチャ  
ンへと戻ったのです。  
(つづく)